

医療費が急増 しています

子 どもの出生数の減少や団塊の世代の定年退職が続き、現役世代の人口は減り続ける一方、そのことに反比例して医療を必要とする方が多い高齢者の人口が増えています。

このような背景から、清里町の国民健康保険においても高額な医療費が急増し、財政がひっ迫する要因のひとつとなっています。



増え続ける医療費

日 本は世界でも有数の長寿国での影響とともに、誰もが受けることのできる医療制度や進歩を続ける医療技術によるところが大きいといわれています。

以前は治療することができなかった病気やけがでも、今では薬品や医療技術の進歩によって治すことができるようになりました。しかし、その一方では高度化する医療に多額の費用が必要となってきました。

わが国は、「国民皆保険」となっており、すべての国民がなんらかの形で健康保険に加入しています。そのため、年齢条件などにより差はありますが、通常は医療費の3割を自己負担し、7割は保険から補てんされています。また、自己負担限度額を設けるなど個人の経済的な負担を軽減することで、誰もがが必要な医療を受けられるよう制度化されています。しかし、少子高齢化の進行によって、これまで運営経費の多くを負担してきた働く年代の人口が減少しています。さらには、長期入院による医療費の増大などによって、一人当たりの医療費は全国的にも増加し、現在、医療費の高額化を防ぐことが

大きな課題となっています。

清里町国民健康保険の医療費

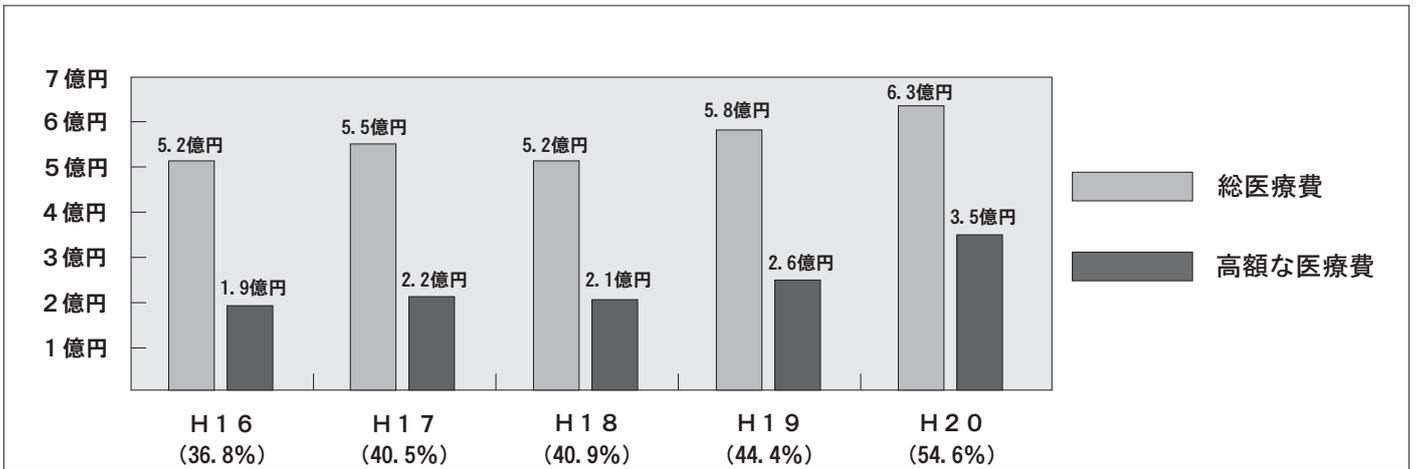
清 里町の国民健康保険の医療費においても、高額な医療費が急増し、国保財政がひっ迫する要因のひとつとなっています。

表1のように総医療費に占める高額な医療費の割合は、平成16年度には36.8%であったものが平成20年度には54.6%と、半分以上を占めるまでになっています。

これは、生活習慣病を原因とする病気の重症化、さらには医療技術の高度化による医療費の増大などが原因と考えられ、今後もさらに増加傾向にあると言えます。清里町の国保被保険者の診療内容を見ると、高血圧や脂質異常症、糖尿病などの生活習慣病が多く、これらを放っておくと心臓病や脳卒中、糖尿病腎症（人工透析）など命にかかわる病気につながり、その治療には高額な医療費がかかります。

生活習慣病は、高齢になるほどかかる割合が高くなる傾向があり、今後さらに高齢者の割合が高くなることから、高額な医療費も増加していくものと考えられます。

■表1 国民健康保険総医療費に占める高額医療費



■自己負担の限度額について

自己負担額には月額限度額が設定されており、その限度額を超えた分が高額療養費として支給されます。また、入院時に限り限度額適用認定証を医療機関に提示することで、窓口での支払いが自己負担限度額までとなります。

●70歳未満の方の自己負担限度額（月額）

| 所得区分 | 3回目まで | 4回目以降 ※1 |
|----------|--|----------|
| 一般 | 80,100円 医療費が267,000円を超えた場合は超えた分の1%を加算。 | 44,400円 |
| 上位所得者 ※2 | 150,000円 医療費が500,000円を超えた場合は超えた分の1%を加算。 | 83,400円 |
| 住民税非課税世帯 | 35,400円 | 24,600円 |

※1 過去12ヶ月の間に、ひとつの世帯で高額療養費の支給が4回あった場合の4回目以降の限度額

※2 基礎控除後の総所得金額等が600万円を超える世帯の方

●70歳以上の方の自己負担限度額（月額）

| 所得区分 | 外来（個人単位） | 外来＋入院（世帯単位） |
|------------|----------|---|
| 一般 | 12,000円 | 44,400円 |
| 現役並み所得者 ※1 | 44,400円 | 80,100円 ●医療費が267,000円を超えた場合は超えた分の1%を加算。 ●4回目以降の場合は44,400円 |
| 低所得者 ※2 | 8,000円 | 24,600円 |
| 低所得者 ※3 | 8,000円 | 15,000円 |

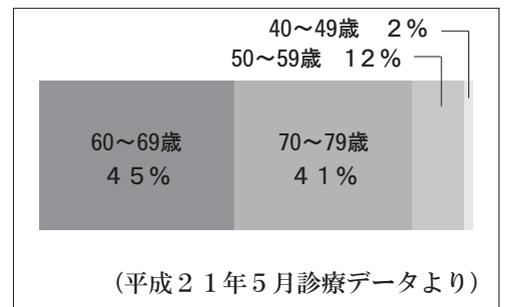
※1 70歳以上の国保被保険者のうち、1人でも基準所得（145万円）以上の方がいる世帯に属する方

※2 世帯主及び国保被保険者全員が住民税非課税の世帯の方

※3 世帯主及び国保被保険者全員が住民税非課税で、かつ、所得が一定基準以下の世帯に属する方

高額療養費の支給には申請が必要です。その際には領収書が必要となりますので、領収書は無くさず大切に保管してください。

■表2 高血圧性疾患の年代別割合



持続可能な国保運営に向けて

みなさんが病院にかかるとき、医療費の1割～3割を支払うだけで、いつでも安心して適切な医療を受けることができます。このとき、残りの7割～9割は保険者（清里町）が負担しています。そして、その医療費を負担するための重要な財源となっているのが、皆さんからの保険税

です。

高額な医療費の増加を防ぐ一番の方策は、「みなさんが健康であること」です。食生活や適度な運動など、高齢になってからも生活習慣病にならないような健康づくりが制度を守ることにつながります。

今後も清里町の国民健康保険制度を維持していくため、日頃の生活習慣や予防のことについて考えてみてください。